

食育通信

大阪市立
横堤中学校

平成27年
1月30日

1 January
2015

給食について考えよう

今週は全国学校給食週間です。

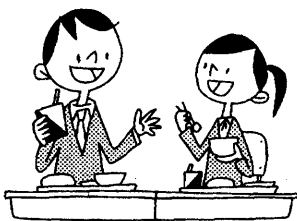
みなさんは、学校給食について詳しく知っていますか？

学校給食は、明治二十二年に山形県の私立忠愛小学校で実施されたことが始まりとされています。その後、全国に広がりましたが、戦争のために中断されました。

戦後、食糧難により児童の栄養状況が悪化してきたために、学校給食の実施が必要だという声が大きくなりました。そんな時、海外からも給食用物資を寄贈するとの申し出があり、昭和二十一年十二月二十四日、東京都で給食用物資の贈呈式が行われました。このことへの感謝を込めて、十二月二十四日が「学校給食記念日」と定められました。また、その日より、関東の児童約二十五万人に対して、試験的に学校給食が実施され、昭和二十二年一月から学校給食が再開されました。

昭和二十五年、こうした支援に対する感謝の意を表するとともに、学校給食が戦後再び始まった意義を考えるために、新たに冬季休業と重ならない一月二十四日から一月三十日までの一週間が「全国学校給食週間」とされました。

給食を食べている人も、お弁当を食べる人も、この機会に、学校給食の意義や役割について考えてみましょう。



恵方巻きの由来とは？



来週は、節分ですね。みなさんは、恵方巻きの知っていますか？恵方巻きは大阪から始まったといわれています。大正初期の大阪で、節分の時期にお新香を巻いたのり巻きを恵方に向かって食べて縁起を担いだことがきっかけのようです。

一九七三年頃、大阪のり問屋協同組合がすし屋にのりを配達するとき節分に恵方巻きを食べるならわしについてのチラシを配ったのが、恵方巻きが全国に広まっていくきっかけになったといわれています。

なぜ、巻かずしを食べるようになったのか、いろいろな説があります。が、具材と一緒に「福を巻き込み」それを食べることで、福が来るという説や、具材を七種入れそれを「七福神」にみたてているという説などがあります。

恵方巻きは、二月三日の節分にその年の恵方を向いて、無言で願い事をしながら一本食べきるとその年が幸福になるといわれています。切り分けずに一本食べるのには、「縁を切らないように」という願いが込められているようです。

恵方巻きも行事食のひとつですが、たくさん思いが込められているのです。

節分の日には、一年の幸福を願って、今年もいい年にしたいですね。

ちなみに今年の恵方は西南西（やや西）です。

恵方巻きを食べるときには、恵方を確認してみましょう。

